

業務部速報



No. 107

発行 23. 4. 15

JR東労組 業務部

4月14日交渉

申8号 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」に関する検証申し入れ 第2回団体交渉を行う! ①

4項 JR本体からの若年出向に頼らない体制を確立するため、グループ会社における年間休日増、賃金の増額等、労働条件・労働環境の向上を引き続き図ること。 ●:組合 ■:会社

<p>●若年出向に頼らなければいけない現実がある。プロパー社員が定着していない。要因には労働条件があるがどうか。</p> <p>●プロパー社員が定着しない理由をどう認識しているのか。</p> <p>●<u>プロパー社員は清掃とメンテナンスなどマルチプレイヤー化し労働力の価値は高まっている。しかし賃金は未だに低い。</u></p> <p>●(異動によって若手のモチベーションを下げた現実から)各社の経営層と若手で考え方に乖離がある。それを埋めるべき。</p> <p>●エルダーの先輩から(現役時代よりも)賃金が下がった上に休日も減ったとの声がある。<u>休日数を増やす考えはあるか。</u></p> <p>●JR東日本として、業務委託の単価を上げることも検討しているのか。</p> <p>●プロパー社員は、賃金水準が低いという実感を持っている。グループ会社との差がある認識はあるのか。</p> <p>●本体として委託単価を定める際、世間の賃金水準や労働力の質の高まりの面からも委託単価の積算をお願いしたい。</p> <p>●働く環境の整備は重要だが、限られた予算にも関わらず、職場が求めているような環境整備も年度末に行われている。職場の意見を反映させた環境整備をお願いしたい。</p> <p>●本体(の検修職場)に逆出向しているプロパー社員が、駅の要員が足りないからと案内業務をしている実態があるが、是正すべきである。</p>	<p>■<u>グループ一体であり当社も無関心ではいけない。</u>各社、世の中の状況をみて判断することである。</p> <p>■1つの理由として労働条件があるのではと認識する。</p> <p>■各社の判断で入換業務の合間に清掃業務が入っていることは認識している。<u>多能化に合わせて給料を上げるというのは難しいが、受け止める。</u></p> <p>■溝を埋めることは大切。受け止めるよう各社に伝える。</p> <p>■各社の判断になる。<u>課題があるのは認識している。確認!</u></p> <p>■グループ会社との労働条件改善、ある程度の必要な中身は検討する。</p> <p>■グループ会社と当社の人事は総体的に差がある。</p> <p>■最低賃金が上がる場面は反映させるように本体からも配慮している。適正な委託契約料を支払う認識は変わらない。</p> <p>■スピード感をもって環境整備している。支社が現場にヒアリングした上で進めているが“そこではない”ということもある。<u>求められることができるよう把握する。確認!</u></p> <p>■逆出向の方は、全て教育(学ぶ)目的で当社へ来ている。人がいないからと説明された職場・支社があれば指導する。事実があればしっかり対応する。<u>確認!</u></p>
---	--

5項 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」の目的にあるエルダー社員の雇用の場の一つとして、今後においても活躍できる体制を整えること。 ■認識一致している。
エルダー社員の技術力・ノウハウを活かすことは引き続き求められることだ!

<p>●本線運転士からエルダー出向で構内運転士になったものの、経験のない全く別の構内や車種を一から覚え直す状況がある。本人希望や経験を加味すべきだ。</p> <p>●エルダー出向後に出向先職場が統廃合で無くなり、別の職場で清掃になりモチベーション低下や生活の変化が大きい。</p> <p>●<u>統廃合時、元の車セに戻り本体エルダーとなるケースはあるか。</u></p> <p>●エルダー出向はグループ会社の技術力向上のためでもあるが、出向先が1つしか示されないことは改善すべき。</p> <p>●数ヶ月先の退職なのに「その出向先しかない」と言われる。技術力・ノウハウを活かすこととエルダー雇用が噛み合わない。</p> <p>●働くエリアは(自宅から)通える通勤圏内とすべきだ。</p> <p>●大変な姿を見て働きたいと思えない状況もある。<u>できる限り単身赴任にならないエルダー出向先を示すべき。</u></p> <p>●エルダー社員がしっかり技術力・ノウハウを活かせる場として雇用しないと、技術力が定着しない課題がある。働く意欲が湧くような雇用の場の確保にしていきたい。</p>	<p>■<u>エルダーの受入数も踏まえて調整になる。引き続き本人希望を踏まえて行うのは変わらない。確認!</u></p> <p>■そのケースは課題であり意欲に応えられる様にしたい。</p> <p>■<u>場合によってはそのようなケースも考えられる。</u>本体に戻す際は慎重に考える。</p> <p>■<u>1社提示にしか見えないという指摘を受け止め、改善すべき点は改善する。</u></p> <p>■グループ会社に技術力を生かせるように行くのも大切。全てが希望通りとはならない為、丁寧に対応したい。</p> <p>■住居に近い所は配慮すべき事項である。</p> <p>■<u>地方では広範囲で単身赴任のケースが多い現実を受け止める。</u></p> <p>■(施策を担った)皆さんのおかげでグループ会社の技術力・ノウハウが高まった。グループ会社に継承していただくことは重要であり引き続き取り組む。<u>確認!</u></p>
--	---

②へ続く